

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図面番号	質問	回答
		（構造関係）	
1		【参考】金抜き内訳書において、P19の土工に平板載荷試験の項目がございませんが、1か所必要と考えて宜しいでしょうか。	よい。
2	S-01	【参考】金抜き内訳書において、P21の普通コンクリートがFc24・S15・高炉セメントB種とありますが、構造図S-01ではFc24・S18（高炉セメントB種の適用箇所は無し）とあり相違しております。 構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	よい。構造図を正とする。
3	A-01 S-01	確認になりますが、コンクリート仕様は下記と考えて宜しいでしょうか。 ・単位水量185kg/m3以下 ・単位セメント量270kg/m3以上 ・水セメント比65%以下（上記質疑で高炉の場合は60%以下） （標準仕様書P55 6.3.2 コンクリートの調合より）	よい。
4	A-12 L-01	現況地盤について、旧休憩所跡地は平均32.10まで埋戻し済み、その他はL-01図の現況平面図のレベルによると考えて宜しいでしょうか。	よい。
5		新設建物の設計GLは32.10と考えて宜しいでしょうか。	御殿の設計GLは、31.92。
6	S-01 S-31 A-31	砂利地業の厚さについて、構造関係特記仕様書の4より厚60mm、矩計図(3)より厚100mm、又【参考】金抜き内訳書P20より数量が捨コンの倍になってますので、厚100mmの数量と思われます。 砂利地業厚は100mmと考えて宜しいでしょうか。	S-01構造関係特記仕様書の記載を誤とし、砂利地業厚100mmを正とする。
7	S-01	構造関係特記仕様書の4.地業工事において、捨コンクリートのスランプが15cm又は18cmとございますが、15cmを採用と考えて宜しいでしょうか。	よい。
8	S-01	構造関係特記仕様書の4.地業工事において、地盤改良工法に丸印がございますが、構造図に見当たりませんので、地盤改良は無しと考えて宜しいでしょうか。	地盤改良は無しとする。
9	S-31	断面リストのFG10Aにおいて、【遺構】土台下敷石受けのふかしコンがございますが、コンクリート強度は躯体コンと同様でコンクリート内は無筋と考えて宜しいでしょうか。	コンクリート強度は躯体コンと同様で、ふかしコンは無筋でよい。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図 面 番 号	質 問	回 答																																	
10	S-14 S-26～28	下記位置の耐圧スラブ天端レベルが、基礎伏図と軸組図とで相違しております。 基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか。（下記寸法=1FLからの寸法。） <table><tr><th></th><th>基礎伏図 (正)</th><th>軸組図</th></tr><tr><td>・Y9, 13/X30-32</td><td>-2000</td><td>-1300</td></tr><tr><td>・b3~5/a3-X2</td><td>-700</td><td>-1300付近</td></tr><tr><td>・X2, 6, 10/Y9-12</td><td>-700</td><td>-800付近</td></tr><tr><td>・X13/Y5-8a</td><td>-700</td><td>-800付近</td></tr><tr><td>・X19/Y3-5</td><td>-700</td><td>-800付近</td></tr><tr><td>・X20, 21/Y2-10</td><td>-1300</td><td>-1200</td></tr><tr><td>・X21/Y10-13</td><td>-1300</td><td>-700</td></tr><tr><td>・X29, 30/Y2-6</td><td>-2000</td><td>-1700</td></tr><tr><td>・X29, 30/Y6-10</td><td>-1300</td><td>-1200</td></tr><tr><td>・X29, 30/Y10-13</td><td>-1300</td><td>-700</td></tr></table>		基礎伏図 (正)	軸組図	・Y9, 13/X30-32	-2000	-1300	・b3~5/a3-X2	-700	-1300付近	・X2, 6, 10/Y9-12	-700	-800付近	・X13/Y5-8a	-700	-800付近	・X19/Y3-5	-700	-800付近	・X20, 21/Y2-10	-1300	-1200	・X21/Y10-13	-1300	-700	・X29, 30/Y2-6	-2000	-1700	・X29, 30/Y6-10	-1300	-1200	・X29, 30/Y10-13	-1300	-700	よい。基礎伏図を正とする。
	基礎伏図 (正)	軸組図																																		
・Y9, 13/X30-32	-2000	-1300																																		
・b3~5/a3-X2	-700	-1300付近																																		
・X2, 6, 10/Y9-12	-700	-800付近																																		
・X13/Y5-8a	-700	-800付近																																		
・X19/Y3-5	-700	-800付近																																		
・X20, 21/Y2-10	-1300	-1200																																		
・X21/Y10-13	-1300	-700																																		
・X29, 30/Y2-6	-2000	-1700																																		
・X29, 30/Y6-10	-1300	-1200																																		
・X29, 30/Y10-13	-1300	-700																																		
11	S-14 S-27 A-22, 30	下記位置の耐圧スラブの有無が、各図面で相違しております。 納まりは基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・Y21/a3-X2 基礎伏図(有り 正)、軸組図(無し) ・X3' /Y9-12 基礎伏図(有り 正)、断面図4, 5, 矩計図(2)(無し) ・X14/Y5-8 基礎伏図(有り 正)、断面図6(無し) ・X5-8/b6-Y23 基礎伏図(有り 正)、断面図5(無し)	よい。基礎伏図を正とする。																																	
12	S-14 S-26～28	下記位置の地中梁符号が基礎伏図と軸組図とで相違しております。 基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 <table><tr><th></th><th>基礎伏図 (正)</th><th>軸組図</th></tr><tr><td>・Y1/X19-32</td><td>FG12</td><td>FG2</td></tr><tr><td>・Y9/X1-12</td><td>FG11</td><td>FG1</td></tr><tr><td>・Y2/X30-31</td><td>FG11</td><td>FG1</td></tr><tr><td>・X19/Y1-5</td><td>FG12</td><td>FG2</td></tr><tr><td>・X24/Y1-2</td><td>FG11</td><td>FG1</td></tr></table>		基礎伏図 (正)	軸組図	・Y1/X19-32	FG12	FG2	・Y9/X1-12	FG11	FG1	・Y2/X30-31	FG11	FG1	・X19/Y1-5	FG12	FG2	・X24/Y1-2	FG11	FG1	よい。基礎伏図を正とする。															
	基礎伏図 (正)	軸組図																																		
・Y1/X19-32	FG12	FG2																																		
・Y9/X1-12	FG11	FG1																																		
・Y2/X30-31	FG11	FG1																																		
・X19/Y1-5	FG12	FG2																																		
・X24/Y1-2	FG11	FG1																																		
13	A-32	矩計図(4)エントランス部等において、建物外部にRC基礎200×250がございますが、コンクリート強度及び配筋を下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・コンクリート強度:Fc24N・SL18 ・配筋: 縦筋(スタラップ 型)D10@200 天端と下端補強筋・各2-D13 横筋(腹筋)2-D10	よい。																																	
14	AL-04, 05	橋新設のコンクリート強度・スラブ については下記と考えて宜しいでしょうか。 ・RC擁壁:Fc24N・SL15 ・デッキスラブ :Fc24N・SL18 ・鋼管内充填コン:Fc24N・スラブ フロ-60	よい。																																	
15	AL-05	詳細図-5 橋 構造図のRC擁壁詳細図において、再生クラッシュランH150とございますが、捨コンクリート厚50も必要と考えて宜しいでしょうか。	よい。																																	

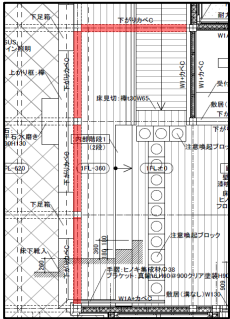
令和 7 年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図 面 番 号	質 問	回 答
16	AL-04	詳細図-4 橋の断面図において、根切り底TP27.9とございますが、GL (TP30.05) から1850下がりですので、根切り底TP28.2と考えて宜しいでしょうか。	よい。
17	AL-04	詳細図-4 橋において、「※デッキスラブ 外周部には木製型枠を使用すること」と記載がございますが、デッキ流れ止めプレートは不要と考えて宜しいでしょうか。	木製型枠を使用するためデッキ流れ止めプレートは不要でよい。
18	AL-02	詳細図-2 配管ピットにおいて、右側の断面図に設備スリーブと記載がございます。 躯体貫通スリーブがありましたら、径・位置図(か所)・配筋要領を御指示下さい。	径：H150W450 箇所：6箇所 配筋要領： 開口縦補強筋 2-D13 開口上下端補強筋：2-D13 斜め補強筋：D13
19	A-01 現場説明書 (5) 発生材等 ⑦ 建設発生土の 処理方法	木造特記仕様書(その1-1) 3-1 土工事 と 現場説明書 (5) 発生材等 ⑦ 建設発生土の処理方法 に於いて、発生土の処理方法が下記のとおり相違しております。 現場説明書を正とし、場外搬出 搬出距離（ 29km以内）と考えて宜しいでしょうか。 ・木造特記仕様書(その1-1) 3-1 土工事 構内の指示場所に堆積 ・現場説明書 (5) 発生材等 ⑦ 建設発生土の処理方法 場外搬出 搬出距離（ 29km以内）	現場説明書を正とする。
20	A-01 現場説明書 (5) 発生材等 ⑦ 建設発生土の 処理方法	上記の質疑に関連して発生土処理が構内指示場所に堆積となる場合、下記の詳細を御指示下さい。 ・堆積する場所 ・堆積の方法 （整地の方法、堆積後の養生の方法）	—
21		【参考】金抜き内訳書において、P108の束石に下記の項目が計上されておりますが、図面上で 詳細図及び 設置場所・設置位置が確認出来ませんでした。 詳細図、設置場所を御指示下さい。 【参考】金抜き内訳書 P108 束石 ・化粧石束 花崗岩 御影石水磨き（t30）接着工法 2.0m2	後日に別途回答する。
		（外部仕上関係）	
22	A-12・28 S-33	現況図に『既存景石再利用(4個)』とありますが、下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・既存沓脱石 2個 ・既存束石(天然石) 2個 計4個 異なる場合は、内容を御指示下さい。	よい。
23	A-18・19	屋根伏図凡例にK. 熨斗瓦に『大棟:4段、降棟:2段』とありますがR00F2/3取合の大棟(X8-17/Y15)に指示のある熨斗瓦は立面図より2段と考えて宜しいでしょうか。	よい。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図面番号	質問	回答
24	A-18	屋根伏図においてX26/Y18の隅棟先端に凡例P：隅棟鬼瓦の指示がありませんが必要と考えて宜しいでしょうか。	よい。
25	A-18	屋根伏図において『むくりA(R00F2・3)』『むくりB(R00F1)』の指示がありますが使い分けの内容を御指示下さい。	むくりAの方がむくりBに比べ曲率がやや大きい。 （曲率設定については、現場にて決定。）
26	A-18	また、御車寄屋根にむくりA・Bの指示がありません。勾配の近いR00F1に倣い『むくりB』と考えて宜しいでしょうか。	むくりA,むくりBと異なる。 A19 立面図（北側）を参照とする。
27	A-18	屋根伏図において降棟(R00F1・御車寄屋根)に瓦屋根凡例がありませんが、凡例K・Lが必要と考えて宜しいでしょうか。	よい。
28	A-19 A-20	立面図において、下記の部分に『縦格子』の指示がありますが図示と異なります。図示を正と考えて宜しいでしょうか。縦格子が必要な場合は寸法と数量を御指示下さい。 ・北側X1-2間 ・南側a2-3間 ・東側Y10(倉庫2下部) ・西側Y9-12間	後日に別途回答する。
29	A-30・31	矩形図において、基礎に撥水材の指示がありますが、撥水材は汎用品と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は仕様・メーカー品番等を御指示下さい。	汎用品でよい。
30	A-30・31	矩形図において、基礎/土台取合いに通気パッキン(既製品)とありますが、メーカー品番を御指示下さい。	以下の同等品以上とする。 ・JOTO キソパッキン KP-120
31	A-54	壁詳細図において、外壁の<長押上部>に『亀裂防止ネット』とありますが仕様・詳細・メーカー品番を御指示下さい。	ガラスファイバーネット 5mm目
32	A-32	矩形図(4) エントランス部において、平面図<腰壁>のブラケット裏に『調整材:ゴムパッキン』とありますが、断面図のブラケット裏には指示がありません。調整材:ゴムパッキンの仕様・詳細・納まりを御指示下さい。	調整用ゴムパッキンは熱橋防止用の干渉材として見込むもの。 仕様：硬質ゴム（クロロプレンゴム）t3接着貼り
		（内部仕上関係）	
33	A-29～31 A-54	室内壁について確認ですが、表面の石膏ボードは天井止めと考えて宜しいでしょうか。	梁下までとする。
34	A-16 A-23・24 A-30	下記に示す木製天井について、表面仕上が記載されていませんが、外部を除き木材保護塗装等の塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。（廻り縁も含む） ■平格天井 ■猿頬天井 ■棹縁天井 ■稲子天井 ■屋根裏天井 ■敷目板天井 （見え掛かりになる柱・梁の仕上は特記なき限り木材保護塗料塗りとなります）	よい。

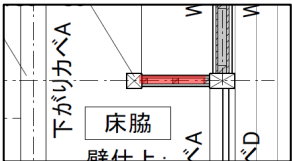
令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図面番号	質問	回答
35	A-16 A-23～28 A-56～62	内部仕上において、下記に示すような木造作・家具において、木部の表面仕上の記載がされていませんが、木材保護塗装等の塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。 ■木製巾木 ■上り框 ■敷居(溝なし) ■長押 ■付鴨居 ■吊束 ■内部階段 等々 (見え掛かりになる柱・梁の仕上は特記なき限り木材保護塗料塗りとあります)	よい。
36	A-28	復元展示室A、B縁側 欄干について、両開き部の納まり・取付金物等の詳細を御指示ください。	銅製 蝶番（既製品） 銅製 落とし掛け（既製品）
37	A-28	また、両開き部の寸法は下記の様に考えて宜しいでしょうか。 ■外部階段1前 W1800 ■外部階段2前 W1050	よい。
38	A-24	空調チャンパ-ボックス(設備工事)について、確認ですが、チャンパ-ボックス部のガラスール巻きも設備工事と考えて宜しいでしょうか。	よい。
39	A-56	内部フロ-1 手摺腰壁部に天然木化粧合板 t6が記載されていますが、仕様・樹種・メーカー品番を御指示ください。	ヒノキ板目W300 t0.5mm 合板5.5mm
40	A-24 A-28 A-35	復元展示室廊下2の天井高について、天井伏図でH2150、展開図ではH2700で相違しています。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。	よい。
41	A-21・26	通り土間ギャラリーに指示がある下がりかゝC(左図赤部)について、CH2650の周囲に指示があるため天井上に必要という指示に思われますが、エントランス部の棟木より高いため下がりかゝCは不要と考えて宜しいでしょうか。 それとも垂木～梁上部に垂壁(両側ボード+仕上)が必要でしょうか。 (平面詳細図) 	後日に別途回答する。
42	A-31・58	欄干金物について、矩計図(3)/平面詳細図より、柱廻りの支柱上端に欄干金物(釘隠し)は不要と考えて宜しいでしょうか。	よい。
43	A-28・58	欄干金物の形状について、欄干両開き部の支柱上端は、半笹型の欄干金物を見込むと考えて宜しいでしょうか。	よい。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図面番号	質問	回答
44	A-53・55	吊束の有無について、部分詳細図キープラン(無し)と建具表(12)/WRGI-1(有り)で相違している箇所があります。建具表(12)よりWRGI-1部に吊束が必要と考えて宜しいでしょうか。(下図赤丸部/2箇所) 	よい。
45	A-30・38・52・55	下記の場所の吊束の仕様について、矩計図(2)と展開図(5)及び建具表(11)で相違しています。展開図(5)及び建具表(11)を正と考えて宜しいでしょうか。 ■休憩スペースー休憩スペース縁側 間 矩計図(2) : スキ 130×105 展開図(5) 及び建具表(11) : ヒノキ 見附105 見込130 【正】	よい。
46	A-17 S-24・25・28	X25通りの小屋裏界壁部の梁型について、構造図で梁型が見当たりません。X24通り軸組図に倣い、梁型(B30・B1015)があると考えて宜しいでしょうか。	Y10～Y13はB1015が配置されているので、Y2～Y10にB24を見込むこと。
47	A-25・56	腰壁の木組下地について、確認になりますが、内壁と同様の木下地に支柱支持材があると考えて宜しいでしょうか。 内壁 木下地 : 木間柱45×45 @450以下 木胴縁45×100 @610以下 支柱支持材 : 75×75	よい。
48	A-26・39 M-03	多機能トイレの多目的パッキのケーシングについて、衛生器具表に指示がありますが、平面詳細図及び展開図より、ケーシングは不要と考えて宜しいでしょうか。	否。トイレパックのケーシングを見込むこと。
49	A-26 M-03	多目的トイレの下記の器具の工事区分について、平面詳細図(機械設備工事)と衛生器具表(建築工事)で相違しています。衛生器具表(建築工事)を正と考えて宜しいでしょうか。 ・ベビーシート(チェア)、ベビーベット(シート)	よい。
50	A-26 M-03	また、ベビーシート(チェア)、ベビーベット(シート)のメーカー品番を御指示ください。	以下を同等品以上とする。 ベビーシート(チェア) : TOTO (YKA15S) LIXIL (AC-BK-F62) ベビーベット(シート) : TOTO (YKA24N) LIXIL (AC-OK-21F)
51	A-26・39 M-03	トイレの下記器具の取付用補強下地について、寸法・仕様を御指示下さい。 ・大便器 ・紙巻器 ・洗面器 ・鏡 ・多目的トイレパッキ(大便器・洗面器他) ・ベビーシート ・ベビーチェア ・フィッティングボード	各メーカーの仕様による。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図面番号	質問	回答
52	A-26・28	南エントランスに指示がある壁見切(a2/b2について、倉庫1～3に倣い、下記を見込むと考えて宜しいでしょうか。 ・ヒノキ 30×30	よい。
53	A-28・59	床脇にある間仕切(下図赤部)について、下記と考えて宜しいでしょうか。 ■床脇FL～天井 ■木間柱:30×30 @450以下 木胴縁:30×100 @610以下 	よい。
54	A-04	鍵箱について、メーカー品番及び数量を御指示下さい。	50本程度。
55	A-16	化学物質の濃度測定について、特記仕様書に詳細が見当たりません。下記と考えて宜しいでしょうか。 ・測定パツヅF、V（パツヅ型） ・着工前後	＜測定対象物質＞ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン 測定方法:パツヅ型採取法 ＜測定時期＞ 内装工事完了後 ＜測定方法＞ パッシブ型採取法 ＜箇所数＞ 7箇所
56	A-23・24 M-05・06	空調スリットの設置箇所・寸法について、天井伏図と空調設備の外平面図(吹出口・吸込口)で相違しています。空調スリットの箇所・寸法は、天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。	よい。
57	S-18 M-15	梁上構造合板の点検用開口(800×1200)について、構造図/小屋伏図に指示がある吹抜を指すと考えて宜しいでしょうか。	よい。
58	S-18 M-15	機器支持金物を固定する束について、構造図/小屋伏図に指示がある小屋束を指すと考えて宜しいでしょうか。	よい。
59	A-32・33・62	断面詳細図/エントランス部、矩計図(4)及び部分詳細図(7)において下記範囲の土間に断熱材敷き込みの指示がありますが範囲が不明確です。範囲図を御指示ください。 ・北エントランス ・南エントランス ・通り土間ギャラリー、玄関、内部スロープ1 ・車椅子乗換スペース ・中央エントランス	対象範囲は、各エントランス屋内床面積部分とする。
60	A-17・21・23・26	X2-3/b2-3にある部屋について、平面図及び断面図と平面詳細図及び天井伏図で指示が相違しています。平面詳細図及び天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 平面図及び断面図 → 収納 平面詳細図及び天井伏図 → PS 【正】	よい。
61	A-40・61	また、建具表にWD-2(収納)がありますが建具キプランにありません。上記回答が収納となる場合は建具キプランのWDB-5(PS)をWD-2に読替えるものと考えて宜しいでしょうか。 (WDB-5とWD-2のどちらかは該当無しと考えて宜しいでしょうか。)	WDB-5を中止し、WD-2を見込むものとする。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図面番号	質問	回答
62	A-16・28	仕上表 倉庫1～3の壁仕上に『腰壁：羽目板張』とありますが、腰壁の高さ・断面詳細を御指示下さい。	H1200 上部見切り：ヒノキ30×25、欠込t10 羽目板：ヒノキ上小節t15W150本実
63	A-28	平面詳細図において、倉庫1に『床下入口』の記載があります。詳細を御指示下さい。	「床下入口」は削除とする。
64	A-33 S-26・28	エントランス部の梁の寸法について、断面詳細図と構造図で相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。 a1・a3通り、a1-a3間 断面詳細図 H=180 構造図 H=105・150	A-33において、 FL+2620が下端の梁（a1～a3間）及び、同一レベルに設置されるa1通り及びa3通りの梁サイズは、H180、W130。 FL+2000が下端の中間梁（a1通り及びa3通り）のサイズは、H150、W105。
65	A-56	車椅子乗り換えスペースの床 フローリングについて、モルタル面にフローリング直張となっておりますが、セルフベリングt10及び下地合板t12(捨張)が必要と考えて宜しいでしょうか。	今後の協議とする。
66	A-23 M-06	天井伏図において空調グリル口450(設備工事)とありますが、設備図と寸法が相違しています。設備図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・天井伏図：450角 ・設備図：150角・200角	よい。
		(建具関係)	
67	A-41・51	WRGL-8について、建具表姿図に中央エントランスの記載がありますが、欄間キープランではWRG-18(建具表無し)と相違しています。 欄間キープランのWRG-18をWRGL-8に読み替えて宜しいでしょうか。	よい。
68	A-51・55	また、中央エントランス(A面)の吊束について、部分詳細図キープランで指示がありますが、建具表(10)/WRGL-8より、不要と考えて宜しいでしょうか。	よい。
69	A-40・46	WDM-1・3について、建具表備考欄に「外部に面する建具」の記載がありますが、建具・雨戸キープラン取付箇所より内部建具と考えてられる為、内部建具として計上して宜しいでしょうか。	よい。
70	A-03・40・44・50	網戸-1について、建具・雨戸キープランのWW-9付近に網戸が見当たりません。また建具表の設置場所が網戸-1(管理者控室)とWW-9(中央エントランス)で相違しています。キープランより網戸-1は不要と考えて宜しいでしょうか。 (木造特記仕様書17項網戸の該当建具のWW-9・WDL-9は誤記と考えて宜しいでしょうか。)	現場での協議とする。
71	A-04	建具に取付くフィルムについて、木造特記仕様書 17項ガラスフィルムに「3M 防犯フィルム ULTLA S2200同等」の記載がありますが、建具表備考欄では「飛散防止フィルム」とあります。 確認となりますが、「3M 防犯フィルム ULTLA S2200同等」を飛散防止フィルムと考えて宜しいでしょうか。	よい。
72		木製建具のガラス面に飛散防止フィルムの指示がありません。指示の無いガラス面に飛散防止フィルム(防犯フィルム)は不要と考えて宜しいでしょうか。	よい。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

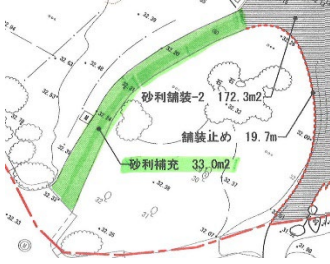
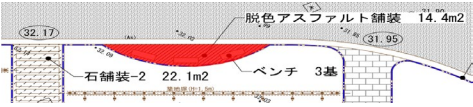
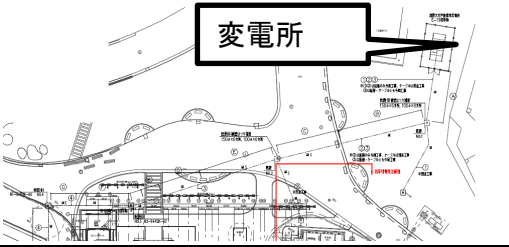
No.	図 面 番 号	質 問	回 答
73	A-50	AD-2の額入ガラスについて、建具表姿図に寸法が見当たりません。 半径300mm円形とし、中間の幅を100mmと考えて宜しいでしょうか。	半径345mm、十字棧幅60mm。
74	A-51	WRGL-8について、ガラス枠の記載が見当たりませんが、他建具に倣いガラス枠3分割と考えて宜しいでしょうか。	よい。
75	A-44	WDL-1・2について、鴨居のH寸法が姿図（H60）と姿図備考（H45）で相違しています。姿図備考を正とし、鴨居H45と考えて宜しいでしょうか。	よい。
76	A-46	WDM-14のW寸法について、姿図（W=462）と建具表（W=426）で相違しています。建具表を正としW=426と考えて宜しいでしょうか。	否。姿図（W=462）が正である。
77	A-44・46	建具表特記に「敷居に溝がある場合、敷居埋め材設置」と記載がありますが建具姿図で下枠（膳台等）の記載がある建具（腰上設置の建具）に敷居埋め材設置は不要と考えて宜しいでしょうか。	よい。
78	A-28・40	戸袋3について、建具・雨戸キプラン・平面詳細図等で建具の指示が見当たりません。建具の取付が必要な場合は建具符号等の建具仕様を御指示下さい。	後日に別途回答する。
79	A-46・57	WDM-10について、戸袋5に取付く建具ですが建具表H2130・戸袋詳細図ではH1499.5と相違しています。戸袋詳細図を正としH1499.5と考えて宜しいでしょうか。	よい。
80	A-27・28	WDS-2～4について平面詳細図に「雨戸戸当り」と記載がありますが寸法を御指示ください。	45×90、L=建具H
81	M-05	確認となりますが、パッケージ形空調調和機用ファンは建築工事対象外と考えて宜しいでしょうか。	よい。
82	M-06 A-50	ガラリ（AG-1・2）のH寸法及び開口率について、建具表（H330）と換気設備外平面図記載寸法（H350）で相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表【正】換気設備外 ■開口率 33% 35% ■H寸法 H330 H350	よい。
83		また、換気設備ファンボックスの材質・仕上・断熱材有無等の詳細を御指示ください。	BOXは亜鉛鉄板とし、GW25mmの断熱を行うこと。
84	A-42	ガラリ形状について、共通事項に外部Ⅰ型・内部Ⅲ型と記載がありますがⅠ型・Ⅲ型の凡例図示が見当たりません。御指示下さい。	対象外とする。
85	A-50	WD-1の枠塗装にSOPとありますが木枠の樹種はヒノキで宜しいでしょうか。	A-50 下欄特記事項の通り、ヒノキ。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

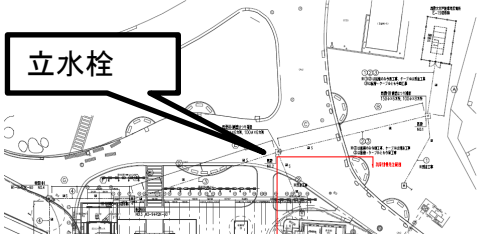
No.	図面番号	質問	回答
86	A-43	G-1について、建具表形状分類に18枚引硝子障子とありますが、姿図は17枚の図示で相違しています。姿図を正とし「17枚引硝子障子」と考えて宜しいでしょうか。	よい。
		(外構関係)	
87	A-07	木造特記仕様書(その1-7) 22舗装工事 路床 路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)に於いて、盛土はA種、B種のどちらも採用とされておりますが、基本はB種を採用とし、盛土が根切量を超えた分はA種を採用するものと考えて宜しいでしょうか。	よい。
88	A-12 L-01	確認となりますが、外構掘削開始レベルはA-12 現況図の既存建物解体後GL≒平均32.10及び建物周りはL-01 現況平面図に記載されているものと考えて宜しいでしょうか。	よい。
89	L-03	外構舗装計画高さはL-03 園路広場施設配置平面図に記載されている○に囲まれた下図の赤枠で示したものと考えて宜しいでしょうか。 また、その他の○に囲まれた記載のない舗装範囲は現況図に記載されたものに倣うと考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は外構舗装計画高さのわかる図面を御示下さい。	よい。
90	L-03	園路広場施設配置平面図に於いて、敷地北側に同じ範囲内で記載数量が相違しているものが御座います。 下図の赤枠で示した「砂利舗装-1 160.5m ² 」及び「砂利舗装-1 594.4m ² 」が示す範囲を御指示下さい。	砂利舗装-1 160.5m ² は誤りである。砂利舗装-1 594.4m ² を正とし、図示する範囲である。
91	L-10 M-19 M-20	M-19屋外配管図に於いて、新設舗装詳細図として脱色アスファルト舗装詳細図(非透水性)が記載されておりますが、L-10 詳細図-2に記載されている脱色アスファルト舗装の断面図(透水性)と相違しており舗装範囲も記載されていません。 断面はL-10 詳細図-2(透水性)に倣うものと考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は、M-19で記載されている脱色アスファルト舗装(非透水性)の範囲と断面詳細を御指示下さい。	よい。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図面番号	質問	回答
92	L-04 M-19 M-20	M-19 屋外配管図に記載されている桧C、桧D、桧EはL-04 雨水排水平面図に記載されておらず相違しています。 雨水排水は外構図 L-04を正とし、桧C、桧D、桧Eはないものと考えて宜しいでしょうか。 ある場合は桧の断面詳細、蓋のメーカー品番を御指示下さい。	M19の桧は汚水である。L04に記載のものは雨水桧である。どちらも見込むこと。 桧C、D、Eの同等品以上について 蓋：中部コーポレーション カラー舗装用化粧鉄蓋（桧450mm接続サイズ）密閉型 ステンレス目地 中荷重（敷6t）MCAW-1HS 桧：既成コンクリート桧 国土交通省仕様 SC-3 サイズはM20図桧リスト参照
93	A-07 L-08	キチジョウソウのm2あたりの株数が特記仕様書と植栽計画平面図とで相違しています。 特記を正と考えて宜しいでしょうか。 ・ A-07 23.4.2 地被類 25株/m2 ・ L-08 植栽工集計表 16株/m2	キチジョウソウ、シャガの植栽株数はL-08を正とする。
94	AL-02	詳細図-2 配管ピットに於いて、U字溝化粧蓋の仕様及びメーカー品番を御指示下さい。	以下の同等品以上とする。 U字溝： カクカコーポレーション U字溝600（1種）600×600×600 化粧蓋： カクカコーポレーション U600用 コンクリート蓋（1種） 745×75×600
95	E-23	既設大木戸駐車場変電所姿図（改設）に於いて、コンクリート基礎増打範囲及び新設主柱及びコーナー柱用基礎ブロックの仕様は下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・ 基礎コンクリート強度 Fc24N/mm2 ・ 基礎コンクリートスラブ 値 18cm ・ 捨てコンクリート強度 Fc18M/mm2 ・ 捨てコンクリート スラブ 値 8cm ・ 配筋要領 ㏪ヨコD13@200	仕様は下記とする。 ・ 基礎コンクリート強度 Fc21N/mm2 ・ 基礎コンクリートスラブ 値 18cm ・ 捨てコンクリート強度 Fc18M/mm2 ・ 捨てコンクリート スラブ 値 8cm ・ 配筋要領 ㏪ヨコSD13@200
96	E-23	既設大木戸駐車場変電所姿図（改設）において、ネットフェンスの拡張範囲の指示があります。既存のネットフェンス及び新設（拡張部）のネットフェンスの仕様、詳細を御指示下さい。	朝日工業UN-A1800の同等品以上とする。
97	E-23	また、既設大木戸駐車場変電所姿図（改設）の基礎及びフェンスの拡張は建築工事と考えて宜しいでしょうか。	電気工事とする。
98	AL-01	詳細図-1 室外機置場1の塀の笠木下端に『水切』とありますが、笠木：カラーガルバの水切り加工と考えて宜しいでしょうか。	よい。
99	AL-02	詳細図-2 配管ピットにおいて、ハト小屋詳細図に点検扉（鋼製、片開き、鍵付）の指示がありますが、片面フラッシュ戸と考えて宜しいでしょうか。	よい。
100	L-03	園路広場施設配置平面図に於いて、敷地南側に階段石（移設）1個、階段石（移設）6個と記載されておりますが、どこから移設された石なのでしょう。移設前の位置を御指示下さい。	計画地より50m程に仮置きする石である（新宿御苑内）。
101	AL-02	詳細図-2 配管ピットに於いて、共通事項に記載されている自閉樹脂塗膜防水のメーカー品番及び仕様の程度を御指示下さい。	大関化学工業、パラテックス、B仕様の同等品以上とする。

No.	図 面 番 号	質 問	回 答
102	L-03	園路広場施設配置平面図に於いて、敷地南西側に砂利充填33.0m2と御座いますが断面詳細図が記載されておられません。 砂利充填の断面及び見切り材の有無がわかる詳細図を御指示下さい。	範囲は下図、着色部分である。砂利は既存と同等材を30mm厚、見切り材は不要である。 
103	L-13 L-14	詳細図-5、6に於いて、下記で示した柵の蓋のメーカー番及び耐荷重を御指示下さい。 ・浸透柵φ450 詳細図 ・L型雨水浸透柵φ450 詳細図 ・横断溝 詳細図	以下の同等品以上とする。 ・浸透柵φ450 蓋はJBM-H-45 T-2過重 メーカーは(株)コクカコーポレーション ・L型雨水浸透柵φ450 細目 T-25荷重 メーカーは(株)コクカコーポレーション ・横断溝のメーカーはインフラテック(株)、GRU可変溝側溝。
104	A-07 AL-02	確認となりますが詳細図-2 配管ピットのハト小屋及び配管トンチに記載されている砕石t100の仕様は特記よりRC-40(再生材)と考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は仕様を御指示下さい。	よい。
105	L-02 L-03	園路広場施設配置平面図に於いて、下図の赤で示した範囲は撤去図と配置平面図で下記のように舗装路盤が撤去、既設と相違しています。 赤範囲の脱色アスファルトは調整砕石(M30)及び再生クラッシャーラン(RC-40)路盤を新設すると考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は詳細を御指示下さい。 ・撤去図 アスファルト舗装撤去-2 粒度調整砕石撤去 再生クラッシャーラン路盤撤去 ・配置平面図 脱色アスファルト舗装 既設調整用砕石 既設再生クラッシャーラン路盤 	よい。
106	M-14	空調設備配管平面図に於いて図面左下配管架台詳細図と図面右上 ミュージアム側面[室外機置場]平面図とで箇所数が相違しております。 図面右上 ミュージアム側面[室外機置場]平面図に図示された箇所数を正と考えて宜しいでしょうか。 M-14 図面左下 配管架台詳細図 配管架台①3ヶ所 ②3ヶ所 図面右上 ミュージアム側面[室外機置場]平面図 配管架台①2ヶ所 ②5ヶ所	平面図に記載の個数を正とする。
		(仮設関係)	
107	K-01	現場事務所及び工事エリアへ供給する仮設電気の引込出来る場所を御指示ください。	下図参照。変電所からは既設埋設管路を使用できる。 

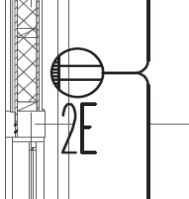
令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図面番号	質問	回答
108	K-01	現場事務所及び工事エリアへ供給する給水為、使用出来る既設給水管の場所と分岐出来る場所を御指示ください。	下図参照。既存立水栓とする。 
109	K-01	現場事務所及び工事エリアで発生する排水の為、使用出来る既設排水管の場所と接続出来る場所を御指示ください。	M21図面のNo165～169の汚水枳とする。
110	A-11	工事関係者の苑内への入退場は管理門から入退場するものとして考えて宜しいでしょうか。	工事関係者の入退場は管理門からとする。なお10 t車は正門からとする。
111	AL-04	橋を構築する際には、工事範囲部の池の水を抜かなければならないと考えますが、そのための仮設の費用は見込むものとして考えて宜しいでしょうか。	発注者と受注者での協議とする。
		（機械設備関係）	
112	M-01	工事概要内消火設備の種類内にABC消火器を設置する事となっておりますが図面に箇所・数量等の記載がありませんが今回工事で実装でしょうか。	実装とする。 ABC消火器の設置は、歩行距離20mに1ヵ所（樹脂製置台）共とする。
113	M-01	工事概要内ガスの種類内にLPガスとありますが図面に内に記載がありませんが別途工事と考えて宜しいでしょうか。	よい。
114	M-01、M-19	給水設備配管材料内に地中埋設配管は水道用ポリエチレン配管（PE）と記載がありますが屋外配管図ではSU管と記載があります。PE管を正と考えて宜しいでしょうか。	給水の地中埋設配管は「PE配管」とする。
115	M-01	排水設備配管材料内に屋外第一枳までの管材記載がありませんが枳間同様の硬質塩化ビニル管（VP）と考えて宜しいでしょうか。	硬質塩化ビニル管（VP）とする。
116	M-03	マルチパッケージ型空気調和機機器表において予備フィルターの記載がありませんが不要と考えて宜しいでしょうか。	各1セット予備を見込むこと。
117	M-03	マルチパッケージ型空気調和機機器表において屋内機防振材のの記載がありませんが防振ゴム設置と考えて宜しいでしょうか。	防振ゴムを設置とする。
118	M-04	全熱交換機EAダクトの保温範囲は外壁より1mとすると記載がありますがすべて保温しなくて宜しいでしょうか。	EA側は外壁より1.0m迄でよい。
119	M-04、M-05	全熱交換器SA・RAダクトにおいて吹出・吸込口が建築工事の箇所は制気口が無い為シャッターで風量調整が出来ませんが各所VD設置は不要でしょうか。	図面の通りシャッターによるある程度の風量調整までとする。

令和 7 年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図 面 番 号	質 問	回 答
120	M-03、M-05	ACP-1-2において機器表風量では960m3/hと記載がありますが器具表吹出口風量合計値が1140m3/hとなっております。吸込口風量合計値が960m3/hの為、機器表風量を正と考えて宜しいでしょうか。	納入する各メーカーの仕様により異なる。機器表の風量を正とする。
121	M-03、M-05	ACP-2-3において機器表風量では2台合計1920m3/hと記載がありますが器具表吹出口風量合計値が2160m3/hとなっております。どちらの風量を正と考えて宜しいでしょうか。	納入する各メーカーの仕様により異なる。機器表の風量を正とする。
122	M-03、M-05	ACP-2-4において機器表風量では960m3/hと記載がありますが器具表吹出口風量合計値が1170m3/hとなっております。どちらの風量を正と考えて宜しいでしょうか。	納入する各メーカーの仕様により異なる。機器表の風量を正とする。
123	M-03、M-05	ACP-2-5において機器表風量では960m3/hと記載がありますが器具表吹出口風量合計値が1170m3/hとなっております。どちらの風量を正と考えて宜しいでしょうか。	納入する各メーカーの仕様により異なる。機器表の風量を正とする。
124	M-03、M-05	ACP-2-6において機器表風量では960m3/hと記載がありますが器具表吹出口風量合計値が1170m3/hとなっております。どちらの風量を正と考えて宜しいでしょうか。	納入する各メーカーの仕様により異なる。機器表の風量を正とする。
125	M-06	器具表にFE-2系統WC前室吸込口GVS200×200・250m3/hと記載がありますが平面図上では吸込口の記載がありません。設置不要でしょうか。	不要とする。
126	M-03、M-06	FE-3において機器表風量では500m3/hと記載がありますが器具表吸込口風量は300m3/hとなっております。どちらの風量を正と考えて宜しいでしょうか。	500m3/hとする。
127	M-05、M-06、A-24	空調・換気設備ダクト平面図ではBOXは内貼GW25mmとなっておりますが建築詳細図では外貼となっております。どちらを正と考えて宜しいでしょうか。	建築詳細図の「外貼り」とする。
128	M-06	排気ガラリEAG-1において換気設備ダクト平面図のサイズ・風量では面風速5.7m/sとなっており風切音の懸念がありますが宜しいでしょうか。	よい。現場での発注者と受注者での協議とする。
129	M-06、A-50	排気ガラリEAG-1において建築建具表では記載がありません。建築図に反映漏れと考えて宜しいでしょうか。	よい。現場での発注者と受注者での協議とする。
130	M-07～12、A-23、24	機器吊り方要領図内の構造用合板24mmは機器点検用として考えても宜しいでしょうか？又構造用合板の開口は建築工事と考えて宜しいでしょうか。	機器点検用として考えてよい。 「構造用合板の開口」は建築工事にてとする。
131	M-14、M-19、20	空調ドレン配管の放流先は外構柵F及びHと考えて宜しいでしょうか。又、臭気対策としてP S内縦管にウォーターベスト取付と考えて宜しいでしょうか。	よい。臭気対策で空調機トラップの設置を立管とする。
132	M-19 M-21	図面M-19 屋外配置図 柵N0165 から柵①の配管125Aは、図面M-21 汚水排水計画断面図により、柵N0165 から柵N0166に接続しております。この配管は既設管として、「改修せず」でよろしいですか、御指示ください。	よい。
133	M-19 ～M-21	図面M-19 屋外配置図 柵N0165 柵N0166は、図面M-20 柵リストでは、「既設柵再利用」とありますが、図面M-21 汚水排水計画断面図により、柵M165は改修なし、柵M-166は改修ありとしてよろしいですか、御指示ください。	よい。

令和 7 年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（7月31日掲載②）

No.	図 面 番 号	質 問	回 答
134	M-15	空調・換気設備機器支持金物配置図の形鋼は天井内隠蔽なので、さび止め塗装でよろしいですか、御指示ください。	よい。
135	M-03 M-14	図面M-03 機器表 マルチパッケージ型空気調和機室内機 運転方法に「同時運転」とありますが、「冷暖同時運転」であれば、2管方式の「冷暖同時運転」となり、冷媒管途中に分岐コントローラーが必要となります。分岐コントローラーの位置は想定でよろしいですか、御指示ください。	マルチエアコンは、「冷暖切替運転」である。
136	M-05、M-06、A-23	図面A-23に空調グリル口450（設備工事）との記載があります。図面M-05、M-06には口450の大きさのものはないと思われます。吹出口と吸込口は設備図が正と考えて宜しいでしょうか。	よい。
		（電気設備関係）	
137	E-03 E-04	照明器具に型番の記載がないため、参考型番をご教示願います。	参考型番を記入しE-03及びE-04図を添付する。
138	E-02 E-14	E-14図内の下記コンセントの凡例がE-02に記載ありません。仕様をご教示願います。 	埋込コンセント2P125V15A接地極付2口とする。
139	E-22 E-23	既存のQBメーカーをご教示願います。	クシダ工業
140	E-22～24	E-24図面右上に記載の既設大木戸駐車場変電所E-19図参照とありますが、E-19ではなく、E-22, 23図を参照としてよろしいでしょうか。	よい。
141	E-04 E-25	照明器具WSP3について、姿図には記載されていますが、外構照明の平面図にはWSP3がありません。WSP3は計上不要と考えてよろしいでしょうか。	よい。WSP3は、E-12図ボ°-f2の2台のみで、E-25図にはない。